

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)						
ET451019	英語科指導法特論(Special Seminar in Teaching English as a Foreign Language)					教科実践						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
選択	2	1	大学院教育学 研究科			氏名 柳井智彦 E-mail tyanaioita-u.ac.jp 内線 7580						
授業の概要	学校の英語授業で生じている課題について、実践的観点から分析すると同時にその理論的意味を考察することをねらいとする。また、ビデオ分析や模擬授業を通して、実践的スキルを高める。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10						
目標1	英語科の指導課題に関して、実践と理論の両面からのアプローチを理解することができる。											
目標2	英語科授業の基本原則と展開法を学び、それを模擬授業の中で活用することができる。											
目標3												
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	英語の指導課題を解決する科学的アプローチ											
2	英語科の指導に関する課題 (誤答の発生と修得理論)											
3	誤答への対応と正答への導き方											
4	英語科の指導に関する課題 (母語習得と第2言語学習)											
5	母語習得の原理を文献から探る											
6	母語習得と第2言語学習の異同を文献から探る											
7	第2言語学習における導入と練習の具体例を作成する											
8	英語科の指導に関する課題 (5つの授業原理)											
9	機械的学習の教材と練習法を探る											
10	有意味学習の教材と練習法を探る											
11	形式と意味を統合する教材と練習法を探る											
12	英語科の指導に関する課題 (優れた英語授業の条件)											
13	優れた英語授業のビデオ分析											
14	模擬授業演習											
15	模擬授業の省察とまとめ											
ラーニング	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	テーマごとに、英文の参考文献が紹介されるので、用語辞典を参照しつつ主体的に読み進む。			工夫 その他							
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修 事後学修	英語文献の予習。 内容のポイントを整理する。										
教科書	特に指定しない。											
参考書	「英語教育用語辞典」(大修館)											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	レポート	70%										
	授業への積極的参加	30%										
注意事項	なし											
備考	なし											
リンク	URL											